



# 輝け！北っ子

平成30年9月27日発行

10月号

発行責任者 紺野 宗作

## 第2回全体授業研究会を行いました！



9月21日。國學院大學の齋藤智哉先生をお招きし、6月に続き第2回目の全体授業研究会を開催しました。5年1組の大槻瑞也先生が算数の授業を提案し、全職員で授業についての研修を深めました。私たち教師にとって最も大切なことは、いかに子ども達が充実感や達成感を感じ、しかも子どもの実力がつく授業ができるかです。今、本校の子ども達の課題の1つとしてあげられるのが、「学びに向かう力」です。学習に対して受け身の態度ではなく、自ら学習に取り組み少々困難な課題に対しても根気強く取り組む態度の育成が急務です。

今回の授業では、分数の大小を小数に表して比較するという課題に対して、グループで協働的に学ぶことで意欲的に課題解決を図ろうとする子どもの姿が見られました。学習意欲とは、友達同士で学び合うことで高まっていくものであり、自分一人で高まるものではないことも再確認できました。学び合う友達がいるという学校そのものの存在意義を感じる授業でもありました。今後も、授業研究を重ね、子ども達にとってよりよい授業ができるよう研鑽に努めていきたいと思ひます。

# 北っ子あいさつ見守り隊ありがとうございます！



いつも下校時に自宅近くで見守っていただいている阿相利和さん（元北小 PTA 会長）

「地域の子どもは、地域で守る」という理念のもと、6月に募集した「北っ子あいさつ見守り隊」は登録者が117名となりました。自宅周辺で北っ子見守り隊の黄色い帽子をかぶり、子ども達とあいさつを交わす姿は、なんともほほ笑ましいものです。また、この活動は声かけ事案等の犯罪の抑止力になる活動ではないかと思えます。この運動をもっと広げていきたいと考えています。

## 子育てのツケは思春期にやってくる！

赤ちゃんに母乳を飲ませるとき、最初は甘い乳糖が、そして、吸い終わるころには苦い脂肪が出てくるそうです。これが信号になっていて、苦い脂肪が出てきたら、「これで終わり」ということを乳児は学習するのだそうです。

小学生となれば、乳幼児と違い食べ物はある程度自分でコントロールできるようになってきます。しかし、好きなものばかりで限界を設定せずに食べさせると、欲望をコントロールする力も育っていきません。子どもが欲しがると、朝からスナック菓子を与えたり、「おかず、これしかないの?」と言われれば、子どもの好きなものを特別に作ってあげたりと、「子ども優先」の子育てをしていないか考えてみたいものです。

食べ物のことだけでなく、子どもの言うがままに与えたり、または、はじめのうちは禁止していても結果的に押し切られてしまったりということが少なくありません。例えば、SNS やゲーム等は小学生一人では自制しにくいものです。家族で話し合い、家族のルールを決める中で自制することができるようになります。

小さい頃から適切な制限（がまんすること）を経験させることがとても大切です。思うようにいかない時にどうすればよいかをそれぞれの成長段階においてきちんと体験的に学ばせておきたいものです。子どもがそうでないと、思春期になってから、様々な問題行動をとるようになるかもしれません。「子育てのツケは思春期にやってくる」と言われる由縁です。